

北海道秋の学び推進月間の取組

オホーツク教育局

平成28年12月28日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のため、各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通じて、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指してまいります。「北海道教育の日」(11月1日)から始まった「北海道秋の学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介するので、今後の取組の充実を図るための参考として御活用いただければと思います。

○ 斜里町立知床ウトロ学校の取組

小中一貫教育をテーマとした授業公開の実施

本校では、「ふるさとに誇りをもち、主体的・協働的に学ぶ児童生徒の育成」を研修テーマとして、義務教育学校の特性を生かした授業づくりに取り組んでいます。11月11日に実施された公開研究会では、全道各地から128名の教員等が参加し、学習内容の系統性を重視した授業の公開、教育課程及び学校運営を柱とした研究協議を行い、参加者からは「小中一貫教育の実施に向けて校内組織の改善と教職員の意識改革が必要であると実感した」などの声が寄せられ、9年間を通じた教育活動の在り方について理解を深めることができました。



【公開授業の様子】

○ 北海道遠軽高等学校の取組

言語活動の充実をテーマとした公開研究会の実施

本校では、「言語活動の充実」を研修テーマとして全校で授業改善に取り組んでいます。11月22日に実施された公開研究会では、管内から21名の教員が参加し、話し合い活動を取り入れた授業公開、生徒が主体的に取り組む授業改善を柱とした研究協議を行い、参加者からは「生徒が自分の考えを広めたり、深めたりするために話し合い活動が重要であると実感した」などの声が寄せられ、言語活動を位置付けた授業の在り方について理解を深めることができました。



【公開授業の様子】

○ 美幌町教育委員会の取組

「親子で学ぼう！『親子国語教室』」の開催

本町では、児童の学力向上や学習習慣の定着を図ることを目的に各種事業に取り組んでいます。11月5日に実施された「親子国語教室」では、町内から児童20名、保護者13名が参加し、漢字の成り立ちを学ぶ演習、本の読み聞かせの大切さをテーマとした講演を行い、参加者からは「家庭における漢字の勉強の方法が分かった」などの声が寄せられ、家庭における自主的な学習の在り方について理解を深めることができました。



【講演の様子】

「北海道学び推進月間」 標語

☆最優秀作品(最優秀賞)☆ 北海道訓子府高等学校1年 山本葉翠さん

「 学問を コツコツ極めて 夢一步 」

☆☆優秀作品(奨励賞)☆☆ 網走市立網走小学校4年 川村那智さん

「 べんきょうは ゆめをかなえる パスポート 」

遠軽町立南中学校3年 最上友月さん

「 毎日の 努力が 掴む その未来 」

北海道網走桂陽高等学校3年 三平皆丞さん

「 つかまえよう 新たな知識を 君の手で 」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございました。